

御影地区のこれからを支える複合施設を考えています

- ・清水町では、老朽化が進む御影公民館と清水消防署御影分遣所の建替え・複合化に向けて、町民検討委員会を開催し、御影地区の皆さんと意見交換を進めています。
- ・新しい施設は、単に古くなった建物を建て替えるだけでなく、これからの御影地区の暮らしを支える拠点として検討していきます。



築53年を迎えた公民館（御影支所）

現在、「基本構想」を考える段階です

- ・基本構想は、これからの御影地区に必要な役割や機能、使いやすさ、維持管理など、施設の計画や設計に進むための条件を整理するものです。
- ・基本構想を検討後、基本設計や実施設計に進みます。
- ・次のスケジュールを目標に、検討が進められます。
令和8年度 — 基本構想・基本計画
令和9年度 — 基本設計
令和10年度 — 実施設計
令和11年度 — 工事着工 ※現段階での【予定】です。

基本構想

基本計画

基本設計

実施設計

工事着工

これまでの検討概要

第1回検討会 6月29日	施設の老朽化と機能について ・新しい施設には、現在の公民館が担っている文化祭、大きな集会、地域行事などの機能について、引き続き必要であるという意見が出されました。 ・一方、人口減少を見据え、機能を盛り込み過ぎず、適切な規模を考えることも大切という意見が出されました。
第2回検討会 7月28日	御影地区で大切にしたいことと複合施設の機能 ・御影地区で大切にしたいことを考え、複合施設に必要な機能などを検討し、子育て世代や高齢者が、気軽に利用できる場とすることが確認されました。 ・御影地区は、人とのつながり、暮らしやすさを大切にしたい地域であることを共有。
第3回検討会 8月24日	消防 防災 交流機能 ・複合施設には、消防機能を確保しながら、会議室や備蓄倉庫などは、できるだけ共有する方向で検討します。 ・交流ロビーの使い方や、町内既存施設との役割分担も話し合いました。
第4回検討会 9月28日	複合施設の機能・配置・運営 ・複合施設には、御影支所、交流ロビー、多目的ホール、消防署分遣所防災備蓄、非常用電源などの防災機能を設ける。 ・多目的ホールの機能は、改善センターでの代替えも考慮し、事業費が大きくなった場合には、規模を縮小することも検討する。 ・施設の配置については、現施設と同一敷地内で検討する。 ・複合施設の管理・運営体制についても検討しました。

・ 4 回の検討会で検討した結果内容

① 複合施設の基本方針

- ・多世代が自然に交流できる施設とする
- ・子育て世代を地域全体で支える施設とする
- ・ゆったりと安心して暮らせる地域の拠点とする
- ・将来世代に過度な負担を残さない施設規模とする

② 複合施設の機能

【支所機能】

【交流ロビー】

交流ロビーには、カフェ・図書スペース、地域情報コーナー、チャレンジショップなどを組み合わせ、日常的に人が立ち寄れる場所にする。

【多目的ホール機能】

多目的ホールは、利活用されるように間仕切りで会議室として利用できるようにし、日常的に利用されるものとする。また、多目的ホールは、必要な機能として位置付けるが、事業費に応じて規模を調整する場合もある。

【消防署分遣所】

現在の消防機能を保ち、防災備蓄、非常用電源などにも対応します。

複合施設の基本機能

支所機能

交 流
ロビー

消防署
御 影
分遣所

多目的
ホール
機 能

③ 複合施設の配置について

配置は現在の施設と同一敷地内での建設を検討し、A案・B案・C案を基本として、次の段階（基本計画）で絞り込みます。



④ 複合施設の管理運営

管理運営については、行政による直営、民間事業者への委託、地域組織による運営などの方法が考えられることから今後検討を行います。

これからの検討

- ・今後は上記の内容をもとに「基本構想」として取りまとめ、「基本計画」として具体的に検討を進めます。
- ・新しい複合施設は、御影地区のこれからの暮らしに関わる大切な施設です。今後も、町民の皆さんの声を伺いながら、御影地区にふさわしい施設のあり方を検討していきます。



複合施設についてのご意見を、ぜひお寄せください。

清水町役場 御影支所
電話：63－2111 担当：吉田